

じんたいちく ようすいる ぶんすい
神代地区 用水路の分水

所在地：南あわじ市 神代浦壁



用水路の円筒分水工

淡路島は、「御食国（みけつくに）」として豊かな第1次産業を築いてきた一方で、水源となる標高の高い山がないため、県下で最も多くのため池をつくるなど、農業用水の確保に努めてきた歴史があります。

神代地区の分水工は、大正7（1918）年に造られ、現在も水路や円筒分水工が各所にて活躍しています。分水工により、仕切壁間の距離に比例した水量に分けられ、各水路に供給される合理的な分水の仕組みとなっています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原IC下車、県道31号線から県道477号線、国道28号、県道535号線へ。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図